

月刊！大阪でんきレター

仕事に少し関係のあることから、まったく関係のないことまであなたにお届けします

今月のトピック

- ◆社長のひとり言
- ◆若手の新コーナー
- ◆令和の武者修行
- ◆「ああ、これ自分の性格でてるな~と思うこと」



社長のひとり言

とにかく、見る・語る・感動することへの罪悪感を無くしてくれて本当にありがとうございます！心が洗われました。また、背負ったお金(でんきレター36号参照)のことを忘れることができそうです。

そう言えば、少し前までは選手の言動や身なり、態度にまでケチをつけていたような気が…。単純な勝ち負けにこだわり、国の代表としての素晴らしい日本人を体現して欲しいと感じている私は古い世代になっていくのか？スポーツの世界にも大きな変化の波がきていることは間違いないです。

スポーツクライミング、サーフィン、BMXフリースタイルでも同様に、互いに技を見せ合って称賛し合う。優劣を競うのではないのです。スポーツマンシップあふれる行動をする選手は、楽しみながら互いに最高のパフォーマンスを追求する空気を大切にす。勝ち負けではないところに価値を見出している。これが新しい心技体の在り方だと語りかけているかのように感じました。

一方、新種目スケートボード女子パーク。金メダル有力だった岡本選手が最終滑走で大技に失敗。直後、ライバル選手たちが彼女を慰めるのに駆け寄り、彼女のパフォーマンスと、難易度の高い技に挑んだ精神をたたえていました。

—「(東京五輪開催への)賛否両論があることは理解しています。ですが、われわれアスリートの姿を見て、何か心が動く瞬間があれば本当に光栄に思います。」「リオオリンピックを終わって、苦しくてつらい日々を凝縮したような、そんな一日の闘いでした」—

東京オリンピック柔道男子73キロ級で2連覇を果たした、柔道家の大野将平さんの礼はとても美しいです。金メダル獲得直後、心技体すべてが備わった29歳の彼の言葉に胸を打たれました。

「礼に始まり礼に終わる」。人としての自然の姿。人の道。すべては互いに礼をするところから始まる。本当の人間尊重。世界中の人が言葉は違ってもお互いに礼を言い、あいさつをする。

新旧の価値観に触れた東京五輪



としたりょう
山本 利太郎

若手の新コーナー



あそう まなみ
浅生 愛美

こんにちは、入社2年目、営業アシスタントの浅生愛美です！麻生でも、あさうでもありません、“浅く生きる”と書いて“あそう”と読みます。以後お見知り置きを！

実は、大阪でんきに勤める前にパティシエを目指しケーキ屋さんで働いていた時期がありました。今でもお菓子を作ることが好きでイベント時等には作っています。先日、我が家のプリンセス(自称)が誕生日で「ピンクとチョコのケーキが食べたい！」ということで、一緒にどんな見た目のケーキがいいのか探し、要望通りのケーキを作りました。結果、大喜びでもりもり食べてくれました。

仕事においてもまだまだ至らないところばかりではありますが、お客様のご要望にお応えできるように日々精進致します！次回は、高岡支店勤務の夏野くんにはバトンタッチです！お楽しみに～！



その時に作ったケーキです。見た目は生クリームですが、割るとチョコ

令和の武者修行って？

今年は県内外の会社6社から、大阪でんきの浅生、山本桜、夏野を含む若手社員が12名と、11歳～14歳の子供たち13名が参加しました。8月16日～20日の5日間、寝食を共にし、立山十峰登山という1人では決して成し得ない困難に、4月から月に一度顔を合わせたばかりの若手社員たちと当日出会ったばかりの子供たちが力を合わせて立ち向かうというものです。

これは、わが子の成長を信じて送り出す、親御さんの修行でもありました。

今年のテーマは“輝き合って、広がってゆく”

5日間に共に過ごし、困難に立ち向かう中で、お互いの輝きを見出し、磨き合って、関わった人や周囲の人たちに今後いい影響を与えていく、という願いの元に挑戦しました。

人は人でしか磨かれない

思うようにいかないこと、向き合わざるを得ない状況に、考え、行動し、5日間の中で彼らが得たものは、今後どのように広がっていくのでしょうか。



大阪でんきでは、その理念や目的に共感することから、百年示道塾とやまが主催する「令和の武者修行」に毎年参画しています。



一般社団法人百年示道塾とやま
福崎 秀樹さん

百年示道塾とやまを運営する想いとは？

便利になりすぎた現代社会において、普通に生活をするだけなら、困りごとが少なくなっていると思います。

その分、困難を乗り越える時に発露される、人間としての力を鍛え高める環境も少なくなっています。

5年前より始まったこの武者修行は、社会に出たばかりの若者と全国から集まる小中学生が力を合わせて立山連峰を縦走する旅です。山や天気など人の力が及ばないものと対峙し、自分一人では乗り越えられない困難を乗り越え、一步一步、あゆみを進めて行くなかで、逃げない勇気、考える力、仲間の大切さ、達成感などを感じてもらう、体験を通じた学びの道場です。

何を学び、何を得てほしいと思ひ、参加しているか？

「我々は地域社会においてその存在価値を認められなければならない」

これは当社の経営理念です。当社がこの地に存在する理由であり、何の目的で、どんな形で行うのかを書いています。あなたの知り合い(身内を含む)に「どこで働いてる」と聞かれて答えたときに、「あー大阪でんき(さん)ね」と言われるのが私の夢であり、この会社の経営理念が社会に認められた状態だと若手社員には言っています。

「忍耐・誠意・勇気」これは当社の社是(家訓)です。経営理念と共に掲げています。最近使わない言葉もありますが、以下のように社員に伝えています。忍耐:希望を持つ技術 誠意:言行一致 勇気:わがままな心を抑え、正しいと思つたことをやり通す力

会社は「人」で成り立っています。1959年の設立から現在までこの理念や社是・文化に共感し繋いできたのも大先輩である「人」です。これから100周年に向けて、繋いでいってもらう為の「人」が今の若手社員です。

ここで、若手塾への参画です。若手塾の目的は「総合的な人間性・人間力を磨く」としており、当社の理念・社是などに近いものを感じました。若手塾の最も重要な位置付けである「武者修行」はあくまで手段です。これを終えたからと言ってすぐに変化は起こりません。しかしながら、よくある新人研修では変えることのできない自分の「価値観(在り方)」に向き合い、それを少し変える事で意見や行動、実行する力に変化が生まれます。仕事や生活に良い影響を与え、そして周囲の人たちにもそれは広がっていきます。それがその若手達にとっての「幸せ」となり、ひいては会社の「大事にしたい事」にもなります。

そんな「人」になってもらいたい、それを次の後輩たちへ繋いでいってほしいのです。当社の人財育成はまだ、始まったばかりですが、この結果が出るのも楽しみでなりません。



山本 利太郎

4月から始動した若手塾…（令和の武者修行）



立山少年自然の家
初顔合わせののち、屋外でのフィールドワーク。今振り返ればぎこちない距離感が懐かしいですね。



滝行・写仏

登山当日に向けて、安全祈願をしました。写仏画は武者修行当日にお守りとして子供達に渡しました。



課題図書

月に一度の課題図書の数々。感想を共有して、互いの考え方、感じ方の違いを知りました。



プレ登山

子供達と一緒に登ることを想定して登山しました。どう声をかけるか、立振る舞うのか想像しながら登りました。

8/16～8/20期間中の出来事（令和の武者修行）



1

① ついに始まった武者修行！安全祈願に雄山神社へ。何とも言えない距離間…（山本桜）



2

② いざ！立山へ挑戦“初日から雨で不安とやる気が入り混じった登山1日目”（浅生）



3

③ 天候が最も厳しい日程。山道に危険物がなにか気を配り、互いに声を掛け合った。（夏野）



4

④ やりました！最終日にして初めての登頂！一峰目“奥大日岳”！（山本桜）



5

⑤ 若侍の底なしの体力に驚いた。自分自身、脱落しかけたが、皆とだから完走することができた（夏野）



6

⑥ 峰完登はできなかったものの、それぞれが自分の輝きに気付いて、最高の感情を得て最高の表情に！！（浅生）

大阪でんきの若手は何を思ったか？（令和の武者修行）



やまもと さくら
山本 桜

私は6/7のプレ登山を経て、自身の先天性の体の障害を案じ本番の登山を断念しました。それからは地上応援部隊として役目を与えていただき、若手社員、子ども達にとって何を考え、何をやる5日間にするかを、もともと用意されていたプログラムをすべて白紙に戻し、企画、運営の大人の方々と本番前日まで何度も何度も考察しました。準備の段階で若手社員たちとは何度も向き合い、私の想いが伝わるまで伝えることを諦めずに向き合い続けました。5日間をみんなと過ごす中で、今年テーマとして私が決めた“輝き合って、広がっていく”が実現されていくのを若手社員や子供たちの表情から感じ取りました。今回の経験があり、相手の声を受けとめること、自分の声を届けることの難しさと大切さを学び、たくさんの人に支えられていることを実感しました。今後は周りへの感謝を返していける大人になります。

今回の武者修行で、支え合う事、相手の気持ちに寄り添う事の大切さを感じました。1人では挫けてしまうような場面が、登山中だけでなく相手との関わり合う中でも多くありました。そんな時に乗り越える事が出来たのは、たった5日間でも深く信頼し合える関係になれた仲間のおかげです。私自身、何度も助けられた場面もあれば、相手の気持ちに寄り添う事で助ける事が出来た場面もあります。仕事においても信頼し合える関係を築き、今はまだ支えてもらうばかりの立場ですが、これからは支えることができる立場となり、様々な困難をみんなで乗り越えて行きたいです。そして、相手の気持ちを考え、相手の考えを受け止めたいという心で心を通わせたやり取りができるように心がけていきたいです。



あそう まなみ
浅生 愛美



なつ の あきら
夏野 敦

当日は、事前に知らされていたメンバーから変更があったが、若侍たちが積極的に関わってくれる姿勢もあり、打ち解けるのに時間はかからなかった。2日目以降は子供たちの中でも役割を持つようになり、励ましや伝言をする声にもやる気や本気を感じられるようになった。それに対して自分たちも若侍に何を与えてあげられるのかを真剣に考え、向き合うことができるようになり、話が苦手な人・体力のある子などと多様に対応することや、会話のキャッチボールのやり方にも工夫し、会話の糸口を探ることができた。結局のところ自身の体力面が災いし、脱落しかけてしまったことが心残りとなった。これからの仕事において知識獲得以外にも体力や精神面とで、出会った若侍に恥じない社会人になれるようにこれから努めていきたい。

「ああ、コレ自分の性格でてるな~と思うこと」



にしの ともひろ
西野 智博

気にはなってるけど...面倒だなとか、まだ大丈夫と思っただけでなかなか行動に移れない。ただスイッチが入ると、とことんないと気が済まない時があります。



たにい ひとし
谷井 仁史

ほぼ趣味となっている風呂掃除です。やるからは徹底的にやろうと気合を入れ早起きし、掃除中は汚れが落ちていくの事に夢中になりご飯もたべず風呂にこもっております。良い洗剤があれば情報お待ちしております。



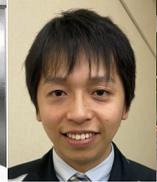
まつうら しんいち
松浦 信一

めざまし占いを毎日かかさず見て、順位が良いときは信じて、悪いときは気にしない。



たいら きよたか
平等 清敬

小旅行に行く際、これ必要か？というもろまで荷物を詰め込んでしまいます。ちょっと慎重すぎますね。なるべく荷物は少なくを心がけています。



にしだ けい
西田 慧

初対面の際、『何度も戸締り確認をする』ことです。最低3回はします。慣れてきたら変えていくこともあります。親しき中にも礼儀ありだと思っています。



たかた てつお
高田 哲生

雑誌等をしまうときにきちつと順番通り、大きさ毎に並べておかないと気が済まないことです。几帳面な性格が出ているなと思います。



うちやま こうへい
内山 康平

思い浮かびませんでした。これを機に考えてみたいと思います。



こばやし しんや
小林 真也

小学生の頃、かなりのあわてんぼうで忘れ物が多かった性格だったためか、今は自宅の玄関に掛かっているホワイトボードに、その日忘れそうな物を書いてます。



たかしま こうせい
高島 光生

小学生の頃、かなりのあわてんぼうで忘れ物が多かった性格だったためか、今は自宅の玄関に掛かっているホワイトボードに、その日忘れそうな物を書いてます。

大阪電機商事(株)富山事業部

富山県富山市新庄本町1丁目5番34号

TEL: 076-451-5581 FAX: 076-451-2320

nishino@osakadenki.co.jp

(西野 智博)

